

6. 設定操作(webによる設定)

6. 1. ユーザー登録

タブレット操作と同じです。

6. 2. 機器の設定

タブレット操作と同じです。

6. 3. ログイン

<https://mimawarikun-cloud-sekisui.com> にアクセスします。

① 予め設定したユーザーID を入力します。

② 予め設定したパスワードを入力します。
パスワードは、英数8文字の設定になります。

ID	パスワード

6. 4. 名前の登録

① 画面上部のメニューボタンから名前設定を選びます。

② 各水まわりくんの名前の設定を行います。
タブレットで設定済みの場合はその名前が表示されます。名前を変更してもタブレット側には反映されません。ご注意ください。

6. 設定操作(webによる設定)

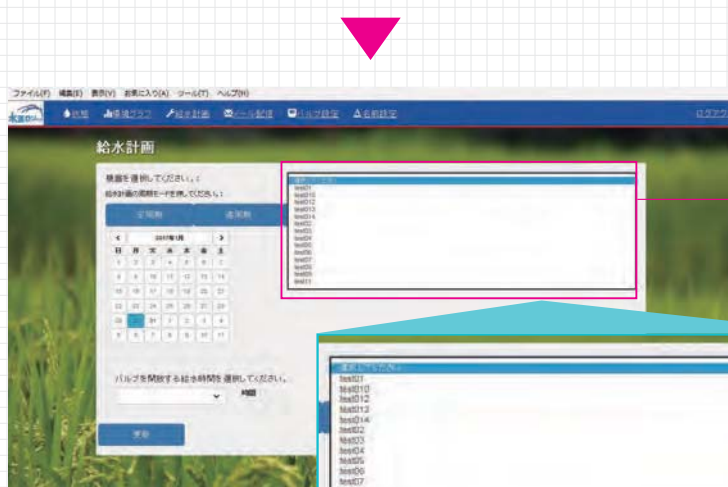
6. 5. 自動運転の設定

6. 5. 1. 給水計画設定



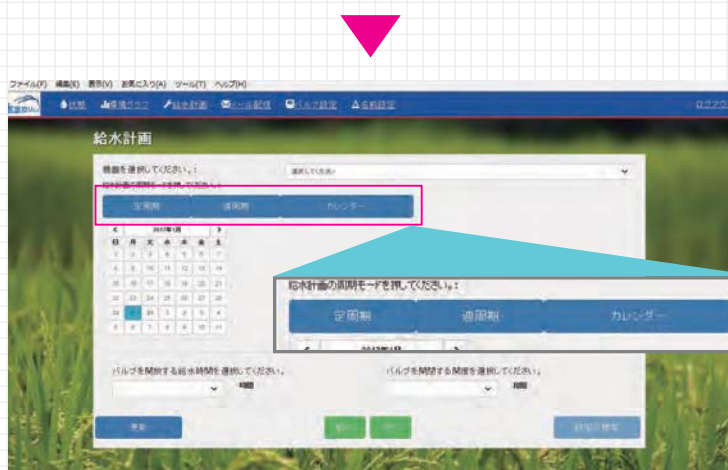
①メニューボタンから給水計画をクリックします。

②計画作成ボタンを押して給水計画を作成します。



③機器を選択してください。
「選択してください」をクリックすると登録された水まわりくんの名が表示されます。
※名前をつける前は空欄となります。

④設定する水まわりくんを選びます。
事前に登録した水まわりくんが表示されます。
その中から設定したい水まわりくんを選択してください。
※設定後に同じ設定を他の水まわりくんにコピーすることもできます。



⑤給水計画の設定方法を選択します。
給水は最大でも1日1回までの設定です。
1日に複数回の給水計画は設定できません。
給水方法は3種類です。

設定可能な給水方法

定周期：一定間隔の周期設定になります。 1日1回の毎日設定～30日に1回の間隔設定まで可能。

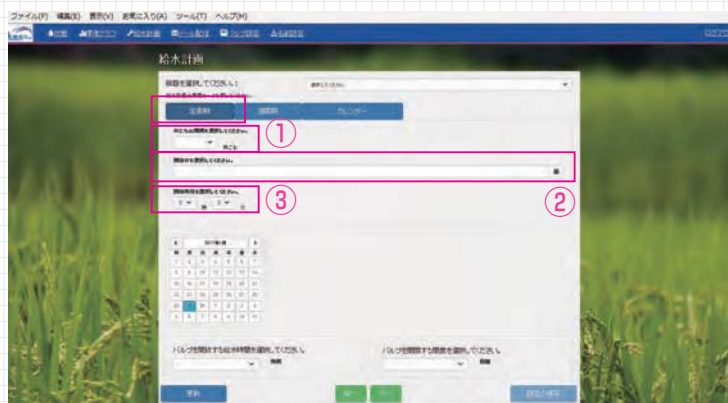
週周期：給水を曜日指定で設定できます。 週間の繰返しになります。

カレンダー：カレンダーで任意の日付けを設定できます。

P.18へ

6. 設定操作(webによる設定)

6. 5. 2. 定周期設定



①日にち間隔の設定をしてください。

〈設定の種類〉

0：繰り返し無し。一度だけの給水になります。

1：1日毎。毎日1回の給水設定になります。

2：2日毎。1日おきの給水設定になります。

}

30：30日毎。30日に1回の給水設定。

②開始日を設定してください。

カレンダーから開始したい日付を選んでください。

過去の日には設定できません。

選んだ場合にはエラー表示します。

③開始時刻を設定してください。

開始時刻を設定します。

過去の時間は設定できません。

※15分毎の設定になります。

6. 5. 3. 週周期設定



①曜日を選択してください。

日曜日～土曜日の必要な曜日をクリックして

選んでください。

②開始日を設定してください。

カレンダーから開始したい日付を選んでください。

過去の日には設定できません。

選んだ場合にはエラー表示します。

③開始時刻を設定してください。

開始時刻を設定します。

過去の時間は設定できません。

※15分毎の設定になります。

6. 5. 4. カレンダー設定



①カレンダーから選択してください。

カレンダー上の日にちをクリックして、給水が必要な日を選択してください。

設定可能な日数は、10日までです。

削除ボタンで解除することも可能です。

⚠ 過去の日には設定できません。
選んだ場合にはエラー表示します。

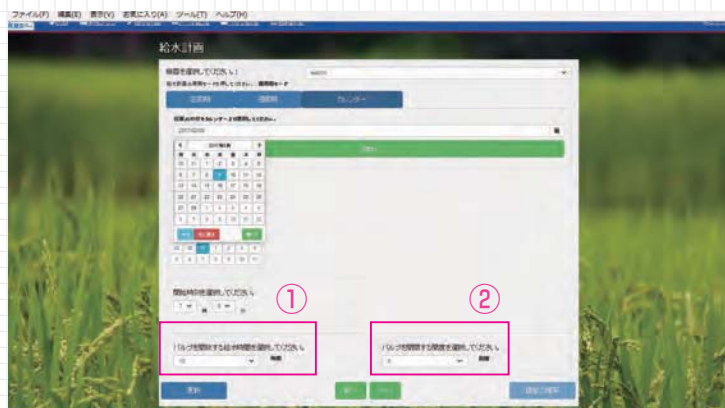
②開始時刻を設定してください。

開始時刻を設定します。

※今回の仕様では、15分毎の設定になります。

6. 設定操作(webによる設定)

6. 5. 5. 給水時間と給水開度の設定 (週周期設定での例。他の設定でも同様です。)

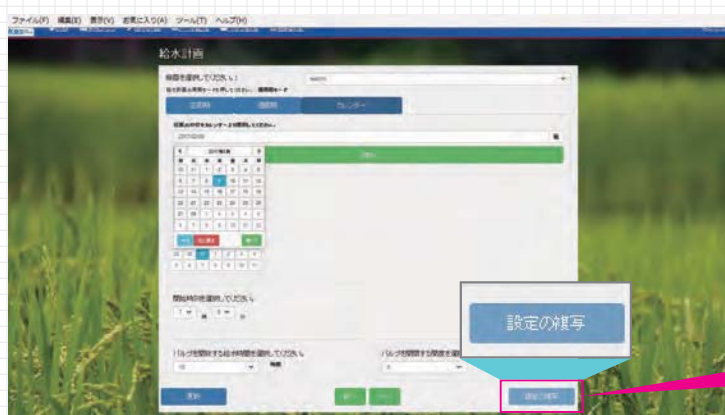


①バルブを開放する給水時間を設定してください。
1時間～24時間の設定が可能です。
〈設定の種類〉
0: 1分間の解放 (テストモード)
1: 1時間の解放
}
24: 24時間の解放

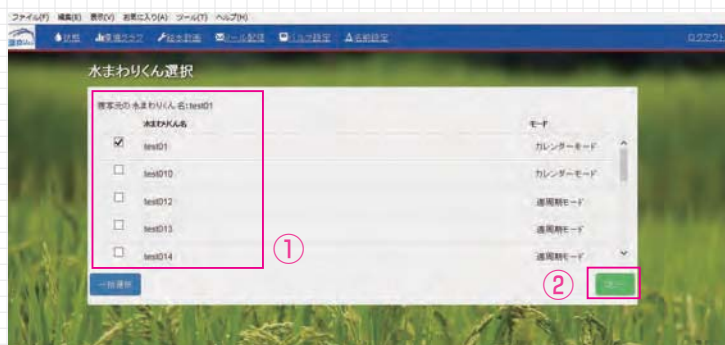
②バルブを開閉する開度を設定してください。
0～10の設定が可能です。
〈設定の種類〉
0: バルブを開けません。
1: 約3/4回転バルブを開けます。
2: 約6/4回転バルブを開けます。
:
10: バルブを全開します。

⚠ 水量は供給水圧により変化します。
経験値によりバルブ開度の設定をしてください。

6. 5. 6. 給水計画の複写



設定を更新すると設定の複写ボタンが有効になります。設定の複写ボタンをクリックすると他の水まわりくんに同様の設定を複写できます。



①設定したい水まわりくんの☐をクリックして水まわりくんを選びます。一括選択も可能です。

②コピーボタンを押してコピーします。

6. 5. 7. 給水計画のクリア



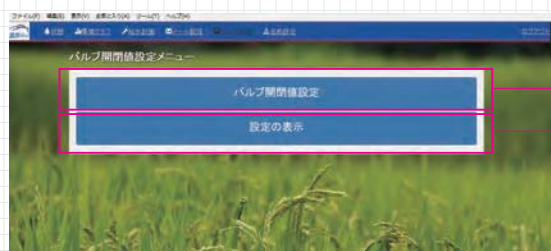
①給水計画のTOP画面から計画クリアボタンをクリックします。

②設定をクリアしたい水まわりくんの☐をクリックして水まわりくんを選びます。一括選択も可能です。

③クリアボタンをクリックしてクリアします。

6. 設定操作(webによる設定)

6. 6. バルブ設定



①バルブ開閉値設定

バルブ開閉設定を行います。

センサー/タイマー優先モード設定及び水位下限センサーの有無設定のみ有効になります。

②設定の表示

バルブ開閉設定状態の表示を行います。設定値が確認できます。

センサー/タイマー優先モード設定及び水位下限センサーの有無設定のみ有効になります。

③バルブ開閉値設定

バルブ開閉値設定ボタンをクリックして設定する水まわりくんを選びます。

④タイマー/センサー優先モード設定ボタンを押して切り替えます。

タイマー優先：タイマー動作が優先になります。
下限水位になっても次のタイマー給水のタイミングで給水を開始します。

上限水位に達した場合には、時間内でも給水を停止します。

センサー優先：センサー動作が優先になります。

下限水位に達した時点で給水を開始し、上限水位に達した時点で給水を停止します。

※この際のバルブ開度は設定にかかわらず、全開となります。

※上・下限水位と警告水温、自動入水水温は今後実装予定です。

6. 6. 1. バルブ設定の複写

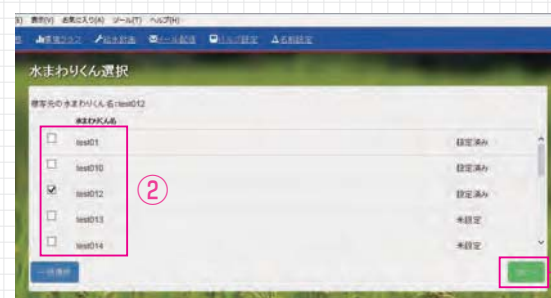


①バルブ設定の複写

設定を更新すると設定の複写ボタンが有効になります。
設定の複写ボタンをクリックすると他の水まわりくんに同様の設定を複写できます。

②複写したい水まわりくんの□をクリックして水まわりくんを選びます。一括選択も可能です。

③コピーボタンをクリックしてコピーします。



6. 設定操作(webによる設定)

6.7. メール配信

異常発生時にあらかじめ設定したメールアドレスにお知らせします。



①メールアドレス設定

メールアドレスを3つまで設定できます。

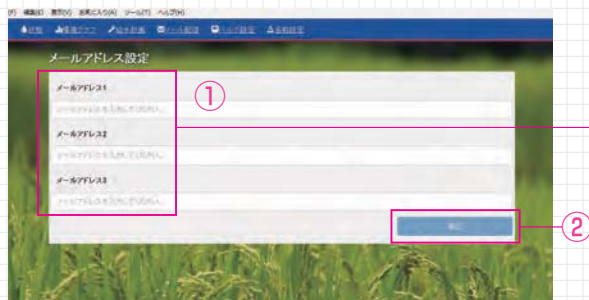
②警告メール配信設定

設定したメールアドレスにお知らせする内容を選択できます。

③設定の表示

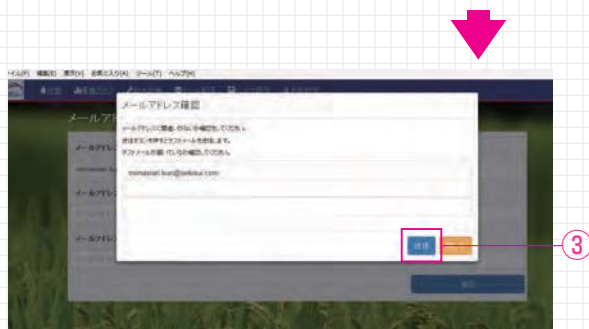
設定内容を表示で確認できます。➡ P.21

6.7.1. メールアドレス設定



①異常発生時のお知らせメール先を設定できます。設定は3つまで可能です。

②設定が完了したら確認ボタンをクリックしてください。



③送信ボタンを押すと、設定したメールアドレスに確認メールが発信されます。メールをご確認してください。

6.7.2. 警告メール配信設定

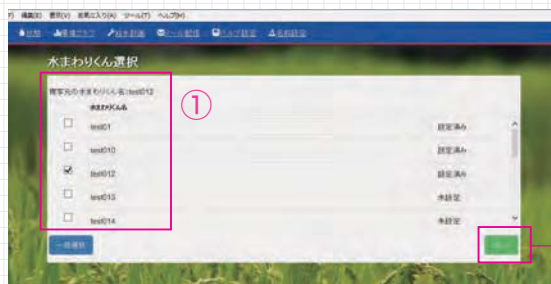


配信設定可能な機器の異常

- 1) バッテリー低電圧：バッテリー電圧が低下しています。バッテリーの確認をしてください。
- 2) モータ過負荷警告：バルブ回転軸が重くなっています。掃除などお手入れしてください。
- 3) モータ過負荷：水まわりくんがバルブを開閉しきれず停止しています。水まわりくん自体のリセットが必要になります。
- 4) 通信エラー：給水計画やセンサー情報等がうまく通信できていません。施工業者にご連絡ください。

6. 設定操作(webによる設定)

6. 7. 3. 警告メール設定の複写

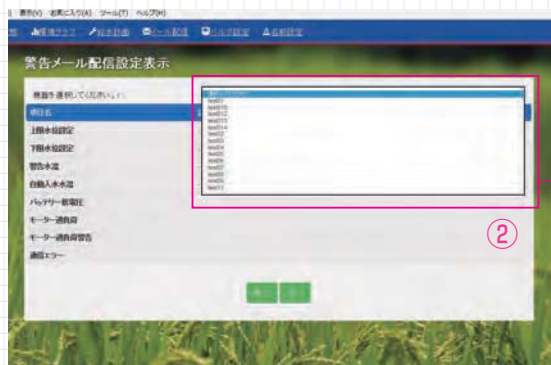


設定を更新すると設定の複写ボタンが有効になります。
設定の複写ボタンをクリックすると他の水まわりくんに同様の設定を複写できます。

① 設定したい水まわりくんの□をクリックして水まわりくんを選びます。一括選択も可能です。

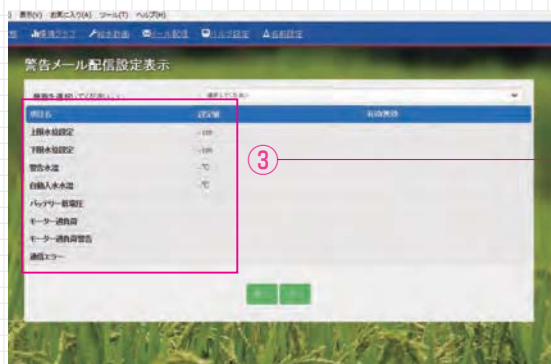
② コピーボタンをクリックしてコピーします。

6. 7. 4. 警告メール設定の表示



① メール配信TOP画面の設定の表示ボタンをクリックします。

② 「機器を選択してください」から設定を表示させる水まわりくんを選んでください。



③ 各水まわりくん毎に6. 7. 2で設定した警告メール配信設定の状態を確認できます。



6. 設定操作 (webによる設定)

6.8.1 水まわりくん状態表示



使用している水まわりくんの一覧を表示します。



詳細を表示したい場合は、詳細表示したい水まわりくんをクリックしてください。



詳細画面に変わるので、一番上の「状態表示詳細」をクリックしてください。



水まわりくんの状態を表示します。



前述した設定方法のほかに、この画面からも各種設定画面に移動することができます。

6.5.1 給水計画設定 (P.15へ)

6.7.2 警告メール配信設定 (P.19へ)

6.6 バルブ開閉設定 (P.18へ)

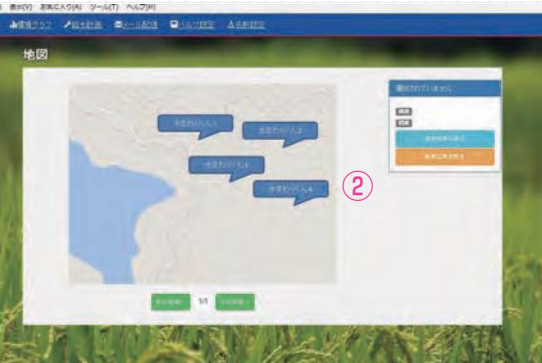
6.9.1 環境グラフ表示 (P.22へ)

6. 設定操作(webによる設定)

6. 8. 2. 地図画面表示



①使用している水まわりくんの一覧を地図上で確認することができます。



②水まわりくんをクリックすると、P21 6.8.1の詳細設定画面に変わり詳細情報の確認や、各種設定を行うことが可能です。

6. 9. 状態表示

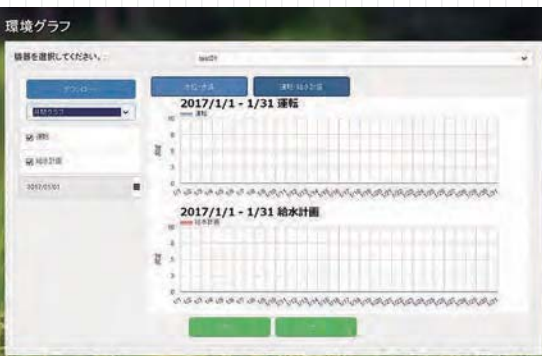


①水まわりくんの状態を表示します。

運転状況	自動運転／手動運転／切
バッテリー状況	正常／低電圧
モータ過負荷	正常／過負荷警告／過負荷
水位上下状態	正常／上限超え／下限未満
バルブ状態	バルブ開／バルブ閉
緯度	＊＊°＊＊'＊＊".*N
経度	＊＊°＊＊'＊＊".*E
水温1	無線センサー
水温2	
水位1	
水位2	

※バッテリー状況が低電圧の場合にはうまく動作しません。充電又はバッテリー交換をしてください。
※モータ過負荷が警告又は過負荷の状態ではうまく動作しません。回転棒の掃除などをして、うまく回転するようにしてください。

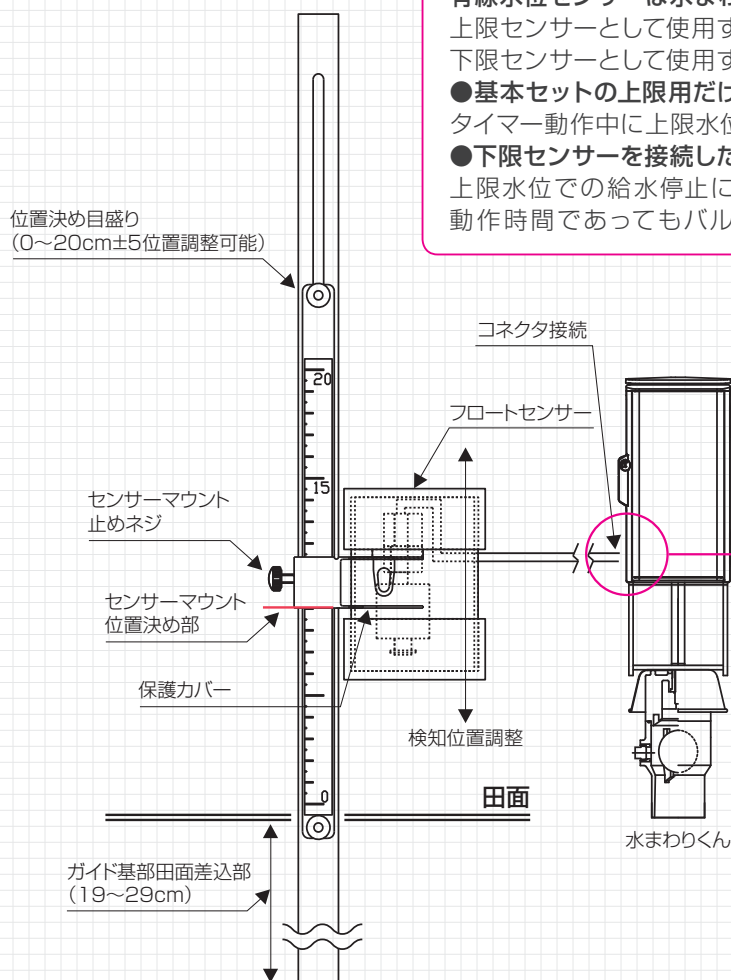
6. 9. 1. 環境グラフ表示



運転実績と給水計画をグラフで表示します。上段がバルブ開閉実績、下段が給水計画を表します。

7. 水位センサー

7.1. 基本動作



有線水位センサーは水まわりくん内部のセンサーコネクタに接続して使用します。
上限センサーとして使用する場合は3芯コネクタに接続します。
下限センサーとして使用する場合は2芯コネクタに接続します。

●基本セットの上限用だけの運用

タイマー動作中に上限水位に達するとバルブを閉じます。

●下限センサーを接続した場合の運用

上限水位での給水停止に加えて、下限水位以上に水がある場合にはタイマー動作時間であってもバルブ動作をおこないません。

水位センサーの ケーブルの接続方法

水まわりくんにケーブルを差す際はゴムシールドにカッター等で切れ込みを入れてください。

※写真は水まわりくんの左側面



3芯コネクタの 接続イメージ



このコネクタと接続してください。

2芯コネクタの 接続イメージ



このコネクタと接続してください。

7.2. 設定方法

1) 目盛り合わせ

位置決め目盛り0cm位置までガイド基部を田圃に差し込んでください。
不安定な場合には目盛り板をずらし深く差し込んでください。

2) 位置決め

目標とする上限水位位置、または下限水位位置を決めてください。

3) フLOATセンサー位置決め

- センサーマウント止めネジを緩めて、センサーごとセンサーマウントを目標位置まで移動させてください。
- センサー位置は、センサーマウントの下側です。位置決め目盛りに合わせて高さを調整してください。
- 3cm以下または田面以下の水位に設定する際には、田面を掘り下げセンサーが下がるようにしてください。

※注意点

田圃への水入れ前に設置する場合には、田面位置が変わる可能性がありますので水を張った後で改めてフロートセンサー、目盛り板を調整してください。

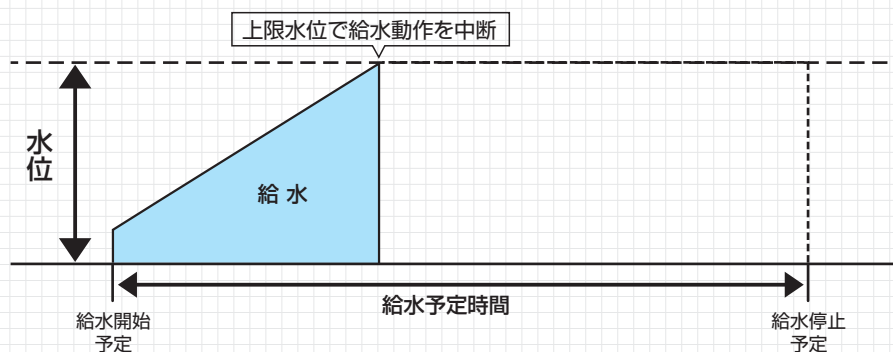
4) センサーマウント固定

センサーマウント止めネジを締めなおしてください。

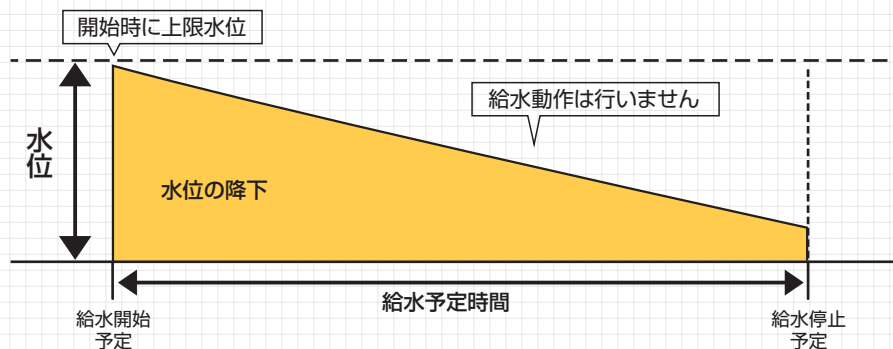
7. 水位センサー

7. 3. 水まわりくん設定

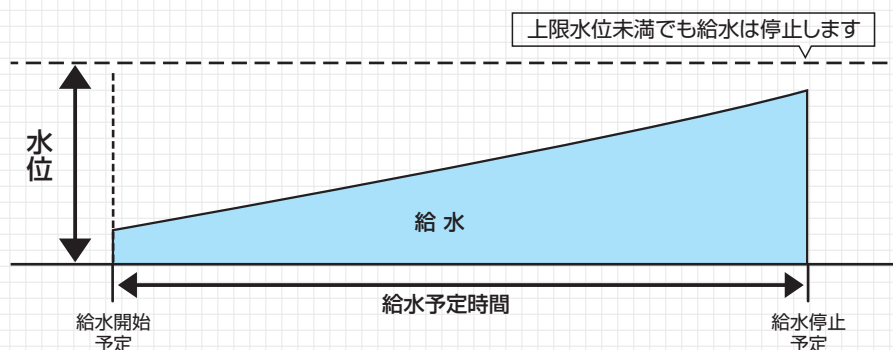
① 給水時間中に上限水位に達した場合には、給水動作を中断します。



② 給水開始時間が来ても、上限水位に達していれば給水動作は行いません。その後、給水予定時間中に水位が下がっても、給水動作は行われません。



③ 上限水位に達しない場合でも、計画した給水時間が終了した時点で給水動作を停止します。



7. 4. 設定上のご注意

- 設置箇所によって田圃水位の違いを考慮して設定水位を決めてください。
- 水压によって時間当たりの給水量が異なりますので、考慮のうえ給水計画設定を決定して下さい。
- 設定水位まで確実に給水を行ないたい場合には、給水時間を長めに設定していただくことを推奨します。
- 水位センサーを使用したくない場合には、水没しない位置までセンサーを持ち上げるか、接続コネクタをはずしてください。
※水位センサーを接続したまま、田圃から外し横向きにおいた場合、誤動作をして給水を行わないことがあります。
- 草刈り作業時にケーブルを切断するなどした場合は、動作しなくなりますので作業中は外してください。
- バルブの近くへの設置は、水流による誤動作の可能性があるため、最低1m程度バルブから離して設置して下さい。